

2015アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名[金沢市立米泉小学校] 担当教諭名[西野 聡子] (4年2組 30名)

交流相手国[台湾]

海外学校名[Wen Ya Elementary School] 担当教諭名[Zeng-Liang Guo, Ruth Hou]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	自分達のすむ町や学びを伝えよう	17
	学級活動	TV 会議で友達を作ろう	4
	外国語活動	自己紹介をしよう	2

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	大好きな遊びやスポーツでいっしょに遊ぼう
絵に込めたメッセージ	自分達がいつも休み時間に遊んでいるスポーツや遊びを紹介し合って交流する相手への意識を高めた。交流校の5年生児童1名がクラスに訪問した際、ドッチボールをして遊んだことで、台湾の交流相手とも一緒に遊び、仲良くなりたいという願いを絵に表現する。「いっしょに」を大切にし中央は大縄跳びで跳んでいる様子を表す。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・パートナーを決め、自己紹介カードを送り合ったり、TV 会議で名前を呼び合ったりしたことで、交流している実感をよりリアルに持つことができた。 ・学校生活や学習内容を、動画や静止画にして交流相手に送ったことで、児童が常に交流相手を意識して学び、学習への意欲や関心が向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流相手の目的は英語学習の意欲向上や実践体験であり、国の文化や交流相手の考え方の交流や理解し合うことには触れていない。学級担任でないため、英語学習以外の価値について触れる機会がなく、同世代の子ども達が相手を理解し合う貴重な体験をする機会を持てなかったことが課題となった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・英語の学習が大切であると感じ、よりいっそう熱心に学ぶようになった。 ・壁画作成だけでなく、それに伴って支援してもらった大学生との学習活動により、世界への目が開け、外国に出て、活動し、学びたいと願うようになった。 ・協働して製作することでクラスが一体感を持つようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任の先生の存在の必要性を認識した。国際協働壁画作成では、交流相手の先生や子ども達と、学ぶ目的を明確にし、どのように理解し合い、何を学ばせるか、明確にする大切さを感じた。担任の存在が不可欠で、指導者同士の共通理解する交渉力が必要 ・指導カリキュラム上に、これらの活動をどのように組み込み学ぶか、設計力とマネジメント力が必要である

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	9月	・交流相手校について昨年度の訪問を想起し、今年度の学習の見通しをもつ。 ・相手を知るためにまず自分を紹介する方法や内容を知る。	・昨年度の4年生が行っていたことを知っていたため、自分達もできることを知り、意欲や関心が非常に高かった。 ・タブレット端末も使いながら紹介する方法を率先して話し合った。	英語2
テーマ学習	5月～10月	・「金沢市の偉人」として八田與一がいることを知り、学習見学を行う。 ・常に交流相手を意識して、調べ活動を行う。	・交流相手の国で活躍した八田與一を一番熱心に調べていた。 ・児童一人一人の交流相手を決めているため「〇〇さんに伝えたい。」という思いで、積極的に調べていた。	総合6
構図決定	11月	・交流相手の指導者(英語担当)から担任教師から「文化」から「遊び」に変更して欲しいと依頼を受け変更。 ・遊びについて何がいいか話し合い、練習していた大縄跳びにする。	・子ども達は、調べていた文化でなくなったためがっかりするが、相手を理解したい、譲りたいという思いが育つ。 ・「大縄跳び」をいっしょに跳びたいという思いが育ち、練習にも力が入る。	学活2 総合2
壁画制作	12月	・壁画作成の方法を知り、下書きや彩色を行う。 ・児童による係分担を行い、自分達の力で、作成だけでなく、その様子を交流相手校に伝える。	・昨年度実践した先輩の話聞き、係を決めて精力的に活動する。 ・フォーラムアップや撮影、色作りなど、さまざまな動きを、主体的に行った。	総合7
鑑賞・振り返り	3月	・完成した壁画の鑑賞会を行い、感想や考えをもつ。 ・アートマイルプロジェクトに参加したふりかえりをする。	・完成した絵についてグループごとに話し合い、一人一人が思いを書く。 ・これまでの活動を思い起こしながら、ふり返しを書く。	総合2

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	2	テーマが途中で変わってしまったため。
異文化の理解	A	2	テーマが文化でなかったため。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	4	相手が明確であるからこそ、相手に伝え、理解してもらいたい、理解したいという思いが強く表れたから。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	4	フォーラムを活用し、相手に伝えたいため、主体的に調べたり、情報機器を活用する姿が見られたから。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	C	4	「絵を描くことで、みんなが仲良くなれた」という感想がクラスの8割を占めたため。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	役割分担から役割を行使するに至り、児童が積極的に動き、非常に熱心にねばり強く活動する姿が見られたため。
学習を追究する意欲	A	4	学習した内容を『you tube』に限定公開して、知らせようが合い言葉になる程、交流相手に見せ、伝えることを意識したから。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	C	3	絵の表現力は問わない。子ども達が自由に楽しんで描くことを大切にしたい。できあがりの完成度は低くても良いと感じているから。
作品を鑑賞する力	C	3	交流相手校の壁画の完成度との差を感じたが、そこまでの価値観の共通理解は難しい。鑑賞力の成果の必要性を感じない。